

2024 年度
(令和 6 年度)

事業報告書

社会福祉法人 東京有隣会

2024 年度 法人事業報告書

理 事 評議員	理事長 奥 典之 業務執行理事 藤田 宜是 業務執行理事 萩原 賢一 理事 野村 俊正 理事 板垣 正幸 理事 川上 雪彦 理事 飯田 育代 理事 明石 眞弓 理事 宮川 正秀 監事 井口 博 監事 三井 岳	評議員 岩崎 雄大 評議員 杉村 栄一 評議員 玉川 寿夫 評議員 三枝 健二 評議員 白石 弥生子 評議員 田尻 康 評議員 長岡 光春 評議員 吉川 恵章 評議員 安藤 秀彦 評議員 横山 宏
辞任退任 理 事 評議員		
理事会	第 270 回 2024 年 6 月 7 日 (有隣ホーム 中会議室) 第 1 号議案 2023 年度 事業報告・決算承認の件 及び社会福祉充実残高承認の件 第 2 号議案 有隣病院 非常勤職員就業規則 改定の件 第 3 号議案 有隣ホーム・第 2 有隣ホーム給与規程改定の件 第 4 号議案 有隣病院・有隣ホーム・第 2 有隣ホーム 給与規程内 通勤手当改定の件 第 5 号議案 理事 1 名 選任の件 第 6 号議案 理事会承認役職者 承認の件 第 7 号議案 評議員会 開催の件 報告事項 1 理事長報告・業務執行理事報告 報告事項 2 理事会、評議員会スケジュール 第 271 回 2024 年 12 月 6 日 (有隣ホーム 中会議室) 第 1 号議案 工事契約 (変更) の件 第 2 号議案 評議員選任・解任委員会細則改定の件 第 3 号議案 第 2 有隣ホーム運営規程改定の件 第 4 号議案 評議員会開催の件 報告事項 1 理事長報告・業務執行理事報告 報告事項 2 中期計画経過・上期決算報告 報告事項 3 建替計画の経過報告(物膳協議含む) 報告事項 4 新棟第 2 有隣ホーム居住費設定の件 報告事項 5 理事会、評議員会スケジュール 報告事項 6 百年史 第 1 版 第 272 回 2025 年 3 月 7 日 (本部棟 1 階 研修ホール) 第 1 号議案 2024 年度 補正予算承認の件 第 2 号議案 2025 年度 事業計画・予算承認の件 第 3 号議案 定款変更の件 第 4 号議案 任期满了評議員に係る改選候補者承認の件 第 5 号議案 評議員選任改選委員会委員候補者承認の件 第 6 号議案 評議員選任解任委員会開催承認の件 第 7 号議案 経理規程改定の件 第 8 号議案 公益通報者保護規程新設の件	

	第9号議案 評議員会開催の件 報告事項1 理事長報告・業務執行理事報告 報告事項2 小田急バスの減便通告の件 報告事項3 理事会、評議員会スケジュール 報告事項4 百年の歩み（案）
評議員会	第82回 2024年6月28日（有隣ホーム ホール） 第1号議案 2023年度事業報告・決算承認の件 及び社会福祉充実残高承認の件 第2号議案 理事1名 選任の件 報告議案1 理事長・業務執行理事報告 報告議案2 理事会・評議員会スケジュール 第83回 2025年3月21日（本部棟1階 研修ホール） 第1号議案 定款変更の件 報告事項1 理事長・業務執行理事報告 報告事項2 2024年度 補正予算報告 報告事項3 2025年度 事業計画・予算報告 報告事項4 評議員選任・解任委員会委員の選任及び開催 報告事項5 建築計画経過報告 報告事項6 小田急バスの減便通告の件 報告事項7 理事会・評議員会の開催スケジュール 報告事項8 百年の歩み（案）
評議員 選任解任 委員会	
主な 事業経過	法人監査 2024年5月28日 会計監査 2024年5月28日 監事監査 2025年1月15日 社会福祉法人指導監査(世田谷区保健福祉政策部) 2025年3月21日 監事監査 東京有隣会研究発表会 2025年2月11日 開催 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 毎月第2月曜日 開催 新棟建設作業部会 毎月第4木曜日 開催 新棟落成式 2024年10月26日 有隣病院・第2有隣ホーム 新棟落成式 開催
危機管理	交通事故対応、各種ハラスメント対応、クレーム対応
表彰	2024年5月16日 2024年度永年勤続職員表彰 (有隣病院7名)

2024年度 有隣ホーム事業報告書

中期計画及び2024年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

専門医療対応の充実・強化

- ①有隣病院と特養ホームとの連携の推進
 - ・施設間連携会議で各施設の情報共有を行い、緊急時や体調不良者が出た場合に確認や対応がスムーズに行えるようになった。
 - ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等に関する再確認をICT会議において行った。
- ②専門医療対応が必要な方の受入れの充実
 - ・各職種で入所予定者に対する受入の検討・課題についてミーティングを開催し、共有した。
- ③医療ケアができる介護職員の育成強化
 - ・喀痰吸引の研修が終了している職員を把握し、技術を活用するための再研修の検討。
 - ・医療ケアに向けた研修については、実施できなかった。

看取り、認知症対応等の充実

- ①看取りの取組の充実
 - ・18件の看取りを実施。
 - ・ターミナル研修を生かし、看取りに適切に対応した。
 - ・看取りケアの充実のため、ご家族の意向を大切にし、職種間の連携に努めた。
- ②認知症対応の強化
 - 各職員のスキルに合わせ各研修を受講
 - ・認知症基礎研修の受講
 - ・認知症実践者研修の受講
 - ・認知症リーダー研修の受講

権利擁護(虐待防止)の徹底

- ①職員自らの振り返りによる虐待の早期発見・対応
 - ・虐待の芽チェックリストによる職員意識の実態把握を行った。
- ②虐待防止委員会の取組強化
 - ・委員会による不適切介護の洗い出し、確認検討を実施。
- ③権利擁護・虐待防止研修の実施
 - ・外部講師による研修の受講をもとに検証を行った。

介護人材の育成

- ①各年度の重点的な取り組み
 - ・中途採用者や若い職員の技術やメンタルケアに努めた。
 - ・各委員会の活動内容と実態確認。
 - ・各フロアの業務調整。
- ②継続的な取り組み
 - ・業務体制の見直しのためのリーダー会議を実施した。
 - ・法令順守の基本的な業務の周知と確認の整理を行った。
 - ・業務のあるべき状況の周知と確認を各職員との面談で確認した。
- ③法人内外での研修・研究成果の実践的取組の発表
 - ・法人内研究発表会については、取組ができず不参加となった。
- ④法人内施設での合同研修の推進
 - ・外部講師による定期研修に第2有隣ホーム・有隣ケアセンターへ呼びかけ受講した。

科学的介護システム「LIFE」を活用したケアの質の向上

- ・栄養マネジメント強化加算を始めとし、今後のLIFEの活用を検討し、次年度の課題とした。

介護現場の改革

- ・各フロア・エリアの実態把握と今後の課題の洗い出し、職員へのヒヤリングを実施した。
- ・次年度導入予定のICT機器の選定、情報収集と課題について検討した。

<2024年度の事業活動総括>

- ・2023度に退職者が多く、職員採用に尽力したが十分に採用が進まなかった。
- ・各機関・施設間との調整を行い、特定技能実習生を12月に4名を採用した。(国籍:インド)
(有隣ホーム:2名 第2有隣ホーム2名)
- ・年末、年度末に退所者が増え、入所が追いつかない状況が生じた。
(退所者数については例年通りだが、退所者が年末、年度末に集中した)
- ・各部署の職場環境を把握し、各所ごとに体制づくりをするための情報を整理した。
(一人ひとりとの面談で各職員の考えを聞き、体制づくりの基盤の参考とした)
- ・他施設との意見交換の場を設け、自施設との比較や改善すべき点などの情報を得た。
- ・新棟完成に伴い、消防計画及びBCP計画の見直し、再計画の作成を行った。
- ・世田谷区の虐待認定されたデイサービス利用者を、有隣ケアセンター・世田谷区との連携により施設として初めて緊急受入れを行い、入所につなげた。

I. 入所者の状況

1. 月別入退所状況

(人)

	新入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	2	3	93	2,779	92.6
5月	2	2	93	2,849	91.9
6月	6	4	95	2,821	94.0
7月	1	2	94	2,918	94.1
8月	3	2	95	2,901	93.6
9月	2	2	95	2,841	91.6
10月	1	6	90	2,860	92.3
11月	2	3	89	2,642	88.1
12月	1	3	87	2,752	88.8
1月	2	6	83	2,636	86.0
2月	6	5	84	2,328	83.1
3月	2	4	82	2,587	83.5
計	30	42		32,913	

2. 入退所者の内訳

(人)

新規入所者()は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	3	3 (1)	4	0	10 (1)
女	3	13 (2)	4	0	20 (2)
計	6	16 (3)	8	0	30 (3)
開設以来					
累計	—	—	—	—	2,518

退所者					
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設
男	6	4	0	0	0
女	23	9	0	0	0
計	29	13	0	0	0
開設以来					
累計	822	1,562	1	0	0

3. 入所期間

(人)

期 間	男	女	計
1年未満	7	17	24
1年以上～2年未満	0	12	12
2年以上～3年未満	1	11	12
3年以上～5年未満	4	16	20
5年以上10年未満	1	12	13
10年以上～15年未満	0	0	0
15年以上～20年未満	0	1	1
20年以上	0	0	0
計	13	69	82

平均入所年数:2.9年

4. 年齢構成

(人)

年 齢 階 層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.2
65歳～69歳	0	1	1	1.2
70歳～74歳	0	0	0	0.0
75歳～79歳	2	2	4	4.9
80歳～84歳	1	19	20	24.4
85歳～89歳	3	20	23	28.0
90歳～94歳	5	15	20	24.4
95歳～99歳	1	11	12	14.7
100歳以上	0	1	1	1.2
計	13	81	82	100
最年少	66	67	—	—
最高齢	95	105	—	—
平均年齢	85.2	88.0	87.5	—

5. 要介護度

種 類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0
要支援 1	0	0	0	0.0
要支援 2	0	0	0	0.0
要介護 1	0	0	0	0.0
要介護 2	0	0	0	0.0
要介護 3	3	10	13	16.0
要介護 4	4	31	35	42.6
要介護 5	6	28	34	41.4
合 計	13	69	82	100

※平均要介護度 4.3

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0
J1	0	0	0	0.0
J2	0	0	0	0.0
A1	0	2	2	2.4
A2	2	6	8	9.8
B1	0	11	11	13.4
B2	6	15	21	25.6
C1	1	7	8	9.8
C2	4	28	32	39.0
計	13	69	82	100

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
なし	0	0	0	0.0
I	0	0	0	0.0
IIa	1	1	2	2.4
IIb	2	11	13	15.9
IIIa	2	14	16	19.5
IIIb	4	14	18	22.0
IV	4	28	32	39.0
M	0	1	1	1.2
計	13	69	82	100

7. 面会

面会回数	人数	%
200回以上	1	0.8
100回以上	3	2.4
50回～99回	18	14.4
20回～49回	24	19.2
10回～19回	28	18.4
5回～9回	26	20.8
1回～4回	20	16.0
なし	10	8.0
計	125	100

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	0
15回以上	0
10回以上	0
5回以上	2
5回未満	12
計	14

9. 外泊

年間延日数	人数	回数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	0	5回～9回	0
10日～19日	0	5回未満	0
5日～9日	0		
5日未満	0		
計	0	計	0

10. 行事

年間	行事
4月	誕生会 お花見散歩
5月	誕生会 手作りおやつ会
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会 手作りおやつ会
9月	誕生会 敬老祝賀会
10月	誕生会
11月	※クラスターの為 誕生者に花束贈呈のみ
12月	誕生会 冬至ゆず湯
1月	誕生会 新年祝賀会
2月	誕生会
3月	誕生会 ひな祭り

*行事食は毎月実施

*コロナ禍により外部から訪問のある行事は未実施

11. クラブ・余暇活動等

名称	参加者	実施日
まほの会(読み聞かせ)	52名	web開催
訪問理美容(任意)	313名	月2回

12. 食事

(1) 食事形態

食事形態		人数
常食 (ごはん)	副食普通	21
	副食刻み	0
軟食 (全粥)	副食普通	3
	副食刻み	39
	副食ミキサー	2
ミキサー食		7
特別食	流動食	0
	ゼリー食	10
	糖尿食	0
経管栄養		1
計		83

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項目		栄養基準量	実栄養 給与量(平均)
エネルギー		1400 kcal	1420 kcal
蛋白質		55.0 g	58.0 g
脂質		40.0 g	41.0 g
炭水化物		215.0 g	209.5 g
無機質	カルシウム	680 mg	720 mg
	鉄	7.0 mg	7.3 mg
	カリウム	2000 mg	2010 mg
	A(レチノール当量)	700 μg	733 μg
ビタミン	B1	1.00 mg	1.20 mg
	B2	1.10 mg	1.20 mg
	C	100 mg	110 mg

日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

(3) 栄養ケア・マネジメントの実施

(4) 食事摂取状況及び嗜好の把握

- ・嗜好調査＝個別に随時
- ・残菜調査＝毎食

(5) 管理栄養士・調理員による喫食状況の把握

(6) 潤いのある食事の提供

- ・行事食＝12回、誕生会12回

(7) O-157及びノロウイルス等感染症対策

- ・衛生管理の徹底、大量調理マニュアルに基づいた衛生管理

(8) 食事の質の向上＝エネルギー・たんぱく質アップの為、デザートを増やしている。

夏からケーキバイキング実施予定

13. 健康管理

(1) 併設病院の協力により、緊急時の早期対応・治療に努めた

- ・インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの予防接種に努め、2024年度はインフルエンザの感染報告数は「ゼロ」となった
- ・便通調整は、医師の指示に基づき個人に合った投薬、浣腸、摘便を実施した
- ・医師の指示に基づいた治療食と、適切な時期に食形態の検討を医師・CW・栄養・歯科と連携して行うことができ、経口摂取の維持継続に努めた
- ・ICTの指示のもと新型コロナウイルス感染症拡大防止に引き続き努めるも、感染者が出たが外部施設への入所・外部病院への入院など適切に対応した。

(2) 健康診断

- ・特定健診、長寿健診の実施
- ・肺がん検診、大腸がん検診の実施
- ・週2回嘱託医の診療時に必要な検査(採血・検尿・X-P・心電図・CT・点滴)を実施

(3) 生活管理

- ・経管栄養実施者が、1名(胃瘻)
- ・在宅酸素療法実施者は3名

(4) 診療(健診含む)

嘱託医(内科)、協力病院(有隣病院)										計	他医療機関										計	
診療科目	内科	外科	整形	形成外科	眼科	精神科	皮膚科	歯科	泌尿器		神経内科	婦人科	整形	腫瘍外科	眼科	内科	精神科	耳鼻科	歯科	泌尿器		救急
受診日等	週3回 必要時	無	週4回	週1回	無	週1回	週2回	無	月2回		週1回	必要時										
実人数	112	0	20	26	0	7	41	0	2	9	217	1	2	1	5	5	0	0	87	2	0	103
延人数	2567	0	33	80	0	40	140	0	4	134	2998	1	2	1	20	5	0	0	210	3	0	242

(5) 新規入所時の病名

病 名	人数
認知症	8
高血圧	2
脳梗塞	4
心疾患	1
肺炎	2
関節リウマチ	1
大腿骨骨折後	1
その他	3

(6) 入院時の病名

主 病 名	男	女	計
コロナ感染症	0	3	3
誤嚥性肺炎	3	7	10
経口摂取困難	0	5	5
発熱	0	2	2
脳梗塞	0	1	1
大腿骨骨折	0	2	2
その他	3	13	16

(7) 死亡原因(在籍中の死亡退所者)

病 名	男	女	計
経口摂取困難	1	4	5
老衰	0	7	7
心不全	0	4	4
その他	3	12	15
計	4	27	31
内看取りケア	3	15	18

(8) 入院、退院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 院	6	3	3	2	3	6	3	0	7	0	5	2	40
退 院	2	4	2	2	3	0	2	0	5	0	4	3	27

II. 地域交流

1. ボランティア受入

グループ名	人数	グループ名	人数	備考
犬のボランティア	1			車椅子のボランティアは、車椅子の拭き掃除。
歌のボランティア	2			
車椅子のボランティア	1			
園芸ボランティア	1			

2. 訪問

所 属 名 称
コロナ禍の影響により中止

3. 体験学習

学校、団体等名称
コロナ禍の影響により中止

4. 実習、研修

学校、団体等名称	延人数
AS教育センター	9
計	9

5. 見学・その他

項目	備考
新規入所 事前説明	30
入所希望相談(見学者数)	48

III. ショートステイ事業

緊急ショートステイ利用者1名(R7.1.10～1.23)

IV. 研修

1. 施設内研修

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数	備 考
介護現場におけるハラスメント対策研修	2024年4月17日	1	23	
事故発生または再発防止に関する研修	2024年5月15日	1	19	
医療に関する研修 口腔ケア	2024年7月17日	1	36	
緊急時の対応に関する研修	2024年8月21日	1	33	
ターミナルケアに関する研修	2024年9月18日	1	39	
非常災害の対応に関する研修	2024年10月16日	1	23	
プライバシー保護、倫理、法令順守に関する研修	2024年11月20日	1	36	
感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	2025年1月16日	1	22	
高齢者虐待防止および身体拘束排除に関する事例理解	2025年2月19日	1	27	
感染症の予防および事業継続計画に関する事例理解研修	2025年3月19日	1	31	

2. 施設外研修

研修内容	参加者・人数
高齢者虐待研修・経営的虐待防止	1
東京都高齢者福祉施設協議会「介護報酬事務に関する研修」	1
生活相談員リスクマネジメント研修会	1
東京都高齢者福祉施設協議会「生活相談員 城南ブロック会」	1
第二回玉川病院 介護・医療連携の会	1
東京都高齢者福祉施設協議会機能訓練指導員研修委員会「情報交流会」	1
介護技術研修基本視点と技術確認	1
令和6年度施設管理者向けマネジメント研修	1
集合研修職下障害の理解とケア	1
ケアリーダーズと学ぶ看取り介護	1
自衛消防訓練防火実務講習会	1
医療事業部報告会&スキルアップセミナー	1
生活相談員研修 全体会	1

V. 会議

会議名	対象	実施回数	備考
職員会議	全職種	10	月次予定、連絡等
主任会議	施設長、生活相談員、各リーダー	12	基本処遇、職員指導等
衛生委員会(生産性向上)	全職種	4	職員健康管理、安全管理の予防及び指導等
災害対策省エネ委員会	防災委員	9	防災訓練 防災指導 計画
リスクマネジメント委員会	施設長 危機管理室長 介護職	12	ヒヤリハット 事故報告書の集計 他
身体拘束・虐待防止・人権	介護リーダー 介護職	12	拘束廃止に向けての職員意識啓発
人材育成OJT	施設長 危機管理室長 介護職	1	新入職員研修 実習生受け入れ
感染対策委員会	生活相談員 介護職 看護師	9	感染防止及び対策等
入所検討委員会	生活相談員 全職種毎入所時に書面確認と委員会開催2回	12	新入所の状況 予定など
生活向上委員会	介護リーダー 介護職	0	利用者処遇の見直し 他
褥瘡予防委員会	全職種	0	褥瘡の予防 注意者の確認 など
ケアカンファレンス	介護支援専門員 介護職員	36	ケアプラン見直し及び作成
	管理栄養士 看護師		

VI. 防災対策 防災訓練

月	訓練内容	消防署の出向指導	参加者数	
			職員	利用者
4月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	4	0
5月	BCP計画マニュアルの見直し	無	6	0
6月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	4	0
7月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	6	0
8月	消防設備と発電機の手配説明	無	6	0
9月	BCP計画マニュアルの見直し	無	4	0
10月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	4	0
11月	自家発電機の手配説明	無	4	0
12月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	4	0
1月	消防設備と発電機の手配説明	無	4	0
2月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	4	0
3月	BCP計画マニュアルの見直し	無	4	0

※消火器・消火栓使用方法訓練は随時実施

※発電機点検、運転訓練は毎月実施

VII. 職員構成

職 種	運営規程 に基づく 配置数	常勤職員					非常勤職員			
		今年度当初 在籍者*1	採用 *2	異動	退職 *3	次年度当初 在籍者*4	今年度当初 在籍者*1	採用 *2	退職 *3	次年度当初 在籍者*4
施設長	1	1				1	0			0
施設長補佐		0					0			0
事務長		0					0			0
事務員	3	2	2		1	3	2		1	1
医師	1	0					1	1	1	1
機能訓練指導員	1	1				1	0			0
看護職員	3	1	1			2	4		1	3
(内 看護師)		(1)				(2)	(4)			(3)
介護職員	30	23	8	4	8	26	11	3	4	10
(内 介護福祉士)		(6)				(15)	(5)			(4)
生活相談員	1	1	2		2	1	0	1		1
介護支援専門員	1	1				1	0			0
(内 兼務)	(1)	(1)				(1)	(0)			(0)
栄養士	1	2	2		2	2	0	1		1
(内 管理栄養士)		(2)				(2)				(1)
調理員		0	1			1	9	3	4	8
宿直員		0					3			3
日直員		0					1			1
洗濯員		0					4			4
計 (兼務除く)	42	32	16	4	13	38	35	9	11	33

* 1 今年度当初在籍者には4/1採用者を除く

* 2 今年度採用者は4/1～3/31の採用者 (4/1採用者を含む)

* 3 今年度退職者は4/1～3/31の退職者 (3/31の退職者を含む)

* 4 次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢＝44歳2ヶ月、平均勤続年数＝4年10ヶ月

非常勤の平均年齢＝62歳5ヶ月、平均勤続年数＝5年10ヶ月

年度末退職者
常勤 名

年度末退職者
非常勤 名

2024 年度

ケアプランゆうりん事業報告書

中期計画及び 2024 年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

1. 地域福祉の推進

1. 困難事例としては、「全盲、難聴、超高齢の義母を介護する嫁が MCI と診断された事例」「統合失調症とアルツハイマー型認知症の合併している事例」「前任ケアマネジャーへの不満を訴える事例」「大声で近所を徘徊する対象者がてんかんと誤診されていた事例」「ケアマネジャーをはしごする対象者の事例」などを受け入れ、施設入所した方と遠方へ転居された方を除き継続対応中。

2. 有隣病院からの退院支援は 2 事例にとどまったが、他病院の退院のケースをあんすこ経由で 2 事例受け入れた。他病院からのケースは横紋筋融解症からの退院と上記のてんかんと誤診されたケース。

2. 個別性を尊重した支援の提供

1. サービス開始時において行う担当者会議は、出来るだけ多くの事業所が参加できるよう手配し、目標とサービス内容を確認。軌道に乗るまで連絡や情報交換を密に行った。

2. 毎月のモニタリングでは不満を聞くこともなく、当事業所が増員した際に引継ぎ（担当変更）を本人等に打診した際拒否が相次ぎ、引継ぎが難航した。

3. 定期的な事例検討への参加はかなわなかったが、船橋地区のケアマネジャー向け事例検討会は企画、運営から行った。

4. 「精神疾患を抱える方への面接技法」の研修や、日本ケアマネジメント学会の研究大会に 2 日間参加し、多様な事例の発表を聞いた。「疾患の知識」については、聞きなれない疾患を有する利用者を担当する際に情報収集を行った。

3. 地域との連携

1. 介護者の急な介護力低下が起きた事例について、保険外サービスを提供する事業所を探し出し、緊急的に対処した。

4. 安定した経営の確保

1. 有隣病院からの退院患者の受け入れ、有隣病院訪問リハビリへの依頼、第 2 有隣ホームへの担当利用者の入所、有隣ケアセンターへの依頼（下半期集中減算データ上有隣ケアセンターへの依頼が最多）と、連携は図れている。

2. 2024 年度中の 2 人体制構築は実現しなかったが、8 月末に求人への問い合わせがあり、2025 年度に 1 名増員となったので、今後利用者受け入れを加速していく。

3. 特に問題なしと見込んで担当を引き受け、その後対応困難な条件が発生したケースもあったが、何とか対応できる範疇だった。

5. 危機管理

1. BCP について、移転前は第 2 有隣ホーム、移転後は有隣病院にて、当事業所を含めた BCP を作成していただいた。訓練については未実施。

2. 担当件数がようやく飽和状態となったため、今後検討していく。

3. 災害用 BCP は有隣病院が作成。ケアプランゆうりんでは感染症の BCP も策定。

物品については、一人事業所だったため用意しなかった。(個人的に保存食の確保等行った。)

【統計関係】

月末登録利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	21	20	21	20	19	21	23	24	20	20	20	28
要支援	3	3	3	4	4	5	5	5	7	7	7	8
合計	24	23	24	24	24	26	28	29	27	27	27	36

2024 年度 新規契約と終結

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規													
本人・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
有隣病院	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
他の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんすこ	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5
その他	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	4	9
計	0	1	1	0	1	3	3	1	1	0	0	8	19
終結													
長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
死亡	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	0	0	2	0	1	0	2	1	0	0	8

2024年度 第2有隣ホーム事業報告書

中期計画及び2024年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

中期計画

(1) 専門医療対応の充実・強化

- ・主に医療対応、入退所の調整等で有隣病院との連携を強化した。
- ・医療対応が必要な方の受け入れについて、有隣病院連携室と調整を実施した。
- ・介護職員が喀痰吸引や経管栄養などの医療対応が実施できるよう、特定行為業務従事者認定証の取得にむけての外部研修を計画した。

(2) 看取り・認知症対応等の充実

- ・看取りケアの充実に向けた研修を実施した。面会時やケアカンファレンス等を通して利用者家族とのコミュニケーションを強化した。
- ・認知症介護実践者研修を1名受講した。修了者による伝達研修は次年度に向けて計画。
- ・認知症関連研修のWEB研修を現場職員（27名）に実施した。特定技能者外国人に向けた認知症関連研修は次年度に向けて組み込めるよう支援機関と調整した。

(3) 第2有隣ホーム新棟移転計画

- ・入所者・家族等への対応は新棟移転先の入居エリア含め、全利用者との協議を終了した。
- ・移転前後において法人内施設と各所運用面の調整を実施した。
- ・ユニットケアについて各種研修・外部施設からの情報収集を行い人材育成を強化した。
- ・新棟開設に向けて必要な人材を採用し、人材確保に努めた。
- ・ユニット従来混合型施設の人員配置上の特性を踏まえ、取得可能な加算の分析を実施した。

(4) 権利擁護（虐待防止）の徹底

- ・職員自らの振り返りの為、虐待の芽チェックリストを定期的に実施した。実施率は80%。
- ・虐待の芽チェックリストの結果を分析し、共有することで共通理解を促進した。
- ・虐待防止委員会の取り組みを強化するとともに、生産性向上の観点から社内チャットを活用し、委員会の開催頻度を効率化した。

(5) 介護人材の育成（重点項目）

- ・リーダー層向けにユニットリーダー研修を受講することで、ユニットケアの基本理念を習得した。一般職員向けの研修は次年度に実施予定とした。
- ・特定行為業務従事者認定証の取得にむけての外部研修を計画した（再掲）。
- ・新棟の特性に対応した災害・感染症関連の研修・訓練を実施し、職員の共通認識を深めた。
- ・継続的取り組みとして身体拘束、プライバシー保護、メンタルヘルス、法令順守、事故発生防止等の関連研修を実施した。他、アンガーマネジメント研修や介護支援専門員、中堅職員研修等の個別対応研修の実施と外部講師によるリーダー層向け接遇研修、部下育成研修を実施した。
- ・法人内で2月に行われた有隣研究発表会にて、介護職員がまとめた研究成果を発表した。
- ・法人施設内での合同研修の推進として有隣ホームで定期開催している外部講師研修へ一部職員が受講した。

(6) 科学的介護システム「LIFE」を活用したケアの質の向上

- ・計画している各LIFE関連加算（科学的介護推進、口腔衛生管理、褥瘡マネジメント、栄養マネジメント強化）は新棟移転後も継続的に取得した。
- ・全国のLIFEデータを定期的に確認し、データ上で大きな差が生じている項目については、委員会等で対策を検討した。
- ・介護報酬の改定に伴い、相談員、事務職員が介護報酬改正関連の研修を受講した。
- ・ユニット従来混合型施設の人員配置上の特性を踏まえ、取得可能な加算の分析を実施（再掲）。

(7) 介護現場の改革

- ・補助金を活用して介護ソフトを新しいものに更新した。次年度の本格運用に向け記録作業のマニュアルを作成し、作業効率の向上を見据えた調整を行った。
- ・旧棟での見守り機器の活用経験を生かし、新棟でも遅延なく効果的に運用し、利用者の安全確保と職員の負担軽減を図った。
- ・次年度に向け、見守り機器の全床設置による人員配置の緩和を活用し、夜勤職員配置加算の取得を目指して、人員配置の調整を計画した。

給食管理

- (1) 食品衛生管理を徹底し食中毒の発生予防に努めた。
- (2) 毎月の栄養ケアマネジメントにより利用者の現状把握を行い、食事内容の改善を図った。
- (3) 行事食や郷土料理の提供を計画通り実施した。
- (4) 有隣病院の管理栄養士と調理場の効率的な運用等について適宜情報交換を行い検討した。
- (5) 多職種で嚥下困難な利用者への食事提供品の検討を適宜実施した。

ショートステイ

- (1) 感染症の持ち込みを防止するため、入所時の抗原検査を徹底し、感染拡大を予防した。
- (2) 外部ケアマネと連携し7件の緊急ショートの受入れを積極的に実施した。
- (3) 新棟への移転を契機に、受け入れスキームを見直し、感染予防と業務の効率化を図った。
- (4) 空床ベッド利用は年間で46件活用した。

設備計画

- (1) 新棟開設に向け、設備計画を段階的に進め、備品の過不足を防ぎ、予算内に収めた。
- (2) 幹部会議などで新棟の設備に関する情報を共有し、選定を行った上で、すべての設備を新棟で活用することを考慮し導入を実施した。
- (3) 社内共有ツールを活用し、情報の共有を円滑にし、委員会前の事前協議を促進・継続した。

危機管理

防災計画・事故対策

- (1) 法人内BCP会議を毎月実施し新棟に対応した防災計画を作成した。
- (2) 新棟に対応したBCP計画上の図上訓練の実施（2月）と避難訓練（1月）を実施した。
- (3) 区の福祉避難所連絡会に参加し、行政との連携体制を確認。福祉避難所図上訓練も実施した。

防犯計画

- (1) 防犯カメラを設置し防犯対策を強化するとともに、施設内の安全確保体制を整えた。

職員計画

- (1) 昨年度と比較して介護職の退職は横ばい（2023年度退職者3名、2024年度3名）であり、低い退職率を維持した。また計画通りに特定技能の外国人2名を採用した。栄養士や調理員についてはコストを抑えて採用ができたが、介護職員に関しては人材紹介会社に依存したため、採用コストが増加した。

<2024年度の事業活動総括>

新棟移転は計画通りに完了し、開設時から高い稼働率を維持できた。建築・解体費を除く通常事業は黒字化しており、安定した運営が継続できている。

I. 入所者の状況

1. 月別入退所状況

(人)

	入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	4	2	79	2,335	77.8
5月	2	3	78	2,400	77.4
6月	4	3	79	2,341	78.0
7月	1	0	80	2,479	80.0
8月	1	2	79	2,469	79.6
9月	1	1	80	2,397	79.9
10月	2	1	80	2,464	79.5
11月	0	0	80	2,400	80.0
12月	2	6	78	2,451	79.1
1月	7	5	79	2,406	77.6
2月	1	0	80	2,236	79.9
3月	0	1	80	2,480	80.0
計	25	23		28,858	79.1

2. 入退所者の内訳

(人)

新規入所者 () は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	1	2 (1)	1	2	6 (1)
女	3	6 (1)	4	3	16 (1)
計	4	8 (2)	5	5	22 (2)

退所者					
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設
男	3	3	0	0	0
女	9	5	0	0	3
計	12	8	0	0	3

3. 入所期間 (人)

期 間	男	女	計
1年未満	4	15	19
1年以上～2年未満	5	17	22
2年以上～3年未満	6	8	14
3年以上～5年未満	3	10	13
5年以上10年未満	2	8	10
10年以上～15年未満	0	1	1
15年以上～20年未満	1	0	1
20年以上	0	0	0
計	21	59	80

平均入所期間 (月)	男	32
	女	34
	計	33

4. 年齢構成 (人)

年齢階層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.3%
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	1	2	3	3.8%
75歳～79歳	2	2	4	5.0%
80歳～84歳	4	10	14	17.5%
85歳～89歳	6	13	19	23.8%
90歳～94歳	7	27	34	42.5%
95歳～99歳	0	4	4	5.0%
100歳以上	0	1	1	1.3%
計	21	59	80	100.0%
最年少	51	72	—	—
最高齢	94	101	—	—
平均年齢	84.3	89.2	87.9	—

5. 要介護度

種類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
要支援	0	0	0	0.0%
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	2	2	4	5.0%
要介護3	9	14	23	28.8%
要介護4	8	27	35	43.8%
要介護5	2	16	18	22.5%
合 計	21	59	80	100.0%

※平均要介護度 3.84

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.00%
J1	0	0	0	0.00%
J2	0	1	1	1.25%
A1	2	5	7	8.75%
A2	6	4	10	12.50%
B1	3	13	16	20.00%
B2	6	17	23	28.75%
C1	2	7	9	11.25%
C2	2	12	14	17.50%
未判定	0	0	0	0.00%
計	21	59	80	100.00%

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

	男	女	計	%
なし	0	2	2	2.50%
I	0	0	0	0.00%
Ⅱ a	2	1	3	3.75%
Ⅱ b	5	19	24	30.00%
Ⅲ a	4	10	14	17.50%
Ⅲ b	6	9	15	18.75%
Ⅳ	4	18	22	27.50%
Ⅴ	0	0	0	0.00%
未判定	0	0	0	0.00%
計	21	59	80	100.00%

7. 面会

面会票による

面会回数	人数	%
200回以上	0	0.0%
100回以上	4	4.1%
50回～99回	13	13.4%
20回～49回	21	21.6%
10回～19回	18	18.6%
5回～9回	21	21.6%
1回～4回	15	15.6%
なし	5	5.2%
計	97	100.0%

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	0
15回以上	0
10回以上	0
5回以上	3
5回未満	12
計	15

法人敷地内の散歩は除く

9. 外泊

年間延日数	人数	回数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	13	5回～9回	0
10日～19日	3	5回未満	24
5日～9日	5		
5日未満	3		
計	24	計	24

10. 行事

年 間	行 事
4月	お花見・ホーム喫茶
5月	菖蒲湯・母の日ホーム喫茶
6月	父の日ホーム喫茶
7月	七夕・夏祭り
8月	ホーム喫茶
9月	敬老会
10月	運動会・外注食レク
11月	ホーム喫茶
12月	クリスマス会
1月	お正月
2月	節分ホーム喫茶
3月	ひな祭りホーム喫茶

11. グループ・余暇活動

名 称	参加者	実施日
歌の会	—	2024年度実施なし
一緒に遊び隊	—	

12. 食事

(1) 食事形態

食 事 形 態	人数
常 食 (ごはん)	
副食普通・一口	30
副食刻み	3
軟 食 (軟飯・全 粥)	
副食普通・一口	10
副食刻み	27
副食ミキサー	3
ミキサー食	6
一部ソフト食 (ミキサー粥)	3
高カロリーゼリー食	6
計	88

※入所74名、SS7名 (2025.3.31)

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項 目	栄養基準量	実摂取 給与量 (平均)
エネルギー	1400 kcal	1464 kcal
蛋白質	55.0 g	60.0 g
脂質	40.0 g	41.9 g
糖質	210 g	222.7 g
無機質	カルシウム※	650 mg
	鉄	6.0 mg
	亜鉛	8.0 mg
	カリウム	2600 mg
ビタミン	A (レチノール当量)	650 μg
	B1	1.00 mg
	B2	1.10 mg
	C	85 mg

※日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

- (3) 栄養ケアマネジメントの実施
 - ・栄養ケアカンファレンス 24回実施
 - ・利用者個人の食事摂取状況、体調、体重のスクリーニングとモニタリング
 - ・他職種と連携し、個人の状況に合わせた食事内容・補食等の検討
 - ・栄養ケア計画の作成と家族への説明
- (4) 行事を取り入れた季節感のある食事の提供
 - ・行事食12回（季節膳、敬老会、正月等）、郷土料理24回
- (5) 利用者個人の状況に配慮した食事や水分の提供等
 - ・嚥下障害：各種とろみ剤・糊用凝固剤の使用、一部ソフト食提供
 - ・水分補給：ほうじ茶、電解質飲料、コーヒー、紅茶、電解質飲料ゼリー、の提供
- (6) 給食委員会の実施（7回）
- (7) 嗜好と摂取状況の確認
 - ・摂取状況調査 都度
- (8) 非常食の備蓄（7日分）及びその応用
- (9) 衛生管理
 - ・食中毒及びノロウイルス感染予防のため衛生管理の実施
 - ・感染症対策における他部署と連携した衛生管理の徹底

13. 健康管理

- (1) 健康管理
- ・診療情報提出
 - ・予防接種
 - ・与薬管理の徹底
 - ・バイタルサイン・体重測定・食事摂取状態を把握し、異常の早期発見とその対応
 - ・施設医師との連携で疾病の管理を行い安定した状態を維持（施設医師回診 3回/週 月・水・金）

◎感染症予防

- ・持ち込まない、持ち出さない意識の徹底
- ・感染症対策委員会
- ・施設内研修と外部医療機関による研修（国立国際医療研究センター感染症専門医による）
- ・発症予防、発生時の感染拡大予防（有隣病院ICTとの情報共有、対策検討）
- ・インフルエンザ及びノロウイルス対応と予防、新型コロナウイルス対策（職員の健康管理、行動の配慮等の徹底）
- ・同対策としての面会一部制限、入所者管理等

◎褥瘡預防

- ・医務と介護職員の連携により、褥瘡の早期発見と治療を実施

◎併設病院との連携

- ・体調不良時の早期対応
- ・利用者の疾病管理としての各種検査（血液・心電図・レントゲン・CTなど）の実施
- ・尿カテーテル、在宅酸素、点滴、インシュリン注射などの処置の実施

◎看取りケア

- ・今年度は死亡者12名中9件の実施であった。新棟移転後もこれまでと同様に利用者や家族に寄り添ったケアの提供を実施した

(2) 診察 (健診)

嘱託医（内科）、協力病院（有隣病院）											他医療機関								
診療科目	内科	神経内科	外科	整形	眼科	精神科	皮膚科	形成	泌尿器	計	内科	整形	循環	脳外	耳鼻科	歯科	眼科	計	
受診日等	週3回と必要時	週1回	週1回	週4回	週1回	週1回	週2回	週1回	隔週		必要時								
実人数	91	5	0	13	0	74	34	12	3		232	0	0	0	0	1	82		7
延人数	1,488	29	0	38	0	233	90	40	21	1,934	0	0	0	0	1	604	51	656	

(3) 新規入所者の病名

病 名	人数	病 名	人数	病 名	人数	病 名	人数
認知症 (アルツハイマー、バセーガ等)	8	糖尿病	0	腰部脊柱管狭窄症	1	脳室内出血	1
COPD	0	肺血栓塞症	0	リウマチ	0	うつ病	2
心不全	0	パーキンソン病	1	多発性神経根炎	1	骨髄不顕性骨折	1
大腿骨骨折後	1	慢性肺炎	0	廃用症候群	3	統合失調症	1

(4) 入院、退院の状況

[illegible]

(5) 入院時の病名

主病名	男	女	計
肺炎（細菌性肺炎含む）	4	1	5
高ナトリウム血症	0	0	0
心不全	0	3	3
大腿骨頸部骨折	1	0	1
癲癇発作	1	0	1
尿路感染症	1	5	6
イレウス	0	0	0
脳梗塞	0	0	0
DIC	0	0	0
胆のう炎	0	0	0
膵臓炎	0	1	1
ステント交換	2	0	2
ペースメーカー交換	0	0	0
コロナ	0	1	1
計	9	11	20

(6) 死亡原因（在籍中の死亡退所者）

病名	男	女	計
老衰	0	5	5
肺炎	0	2	2
心不全	1	1	2
DIC	1	0	1
経口摂取困難	0	0	0
肺腫瘍	1	0	1
腎盂腎炎	0	1	1
計	3	9	12
（看取りケア）	（3）	（6）	（9）

II. 地域交流

1. ボランティア受入

ボランティア	延べ人数	活動内容
個人	121	炊事・洗濯・掃除・ゴミ出し・お見舞い・お返し・お祝い・お祝い
グループ	0	
合 計	121	

2. 訪問

所属名称	延べ人数
恵泉女学園クリスマス訪問	8
合 計	8

3. 実習、研修受入

学校、団体等名称	延日数
東京医歯学院大学	31
計	31

4. 体験学習

学校、団体等名称	延人数
船橋希望中学校	4
計	4

5. 見学等

名 称	延人数
個人	47
団体	0
計	47

6. 地域イベント参加

船橋防災スタンプラリー 地域住民の方々への車椅子体験会
あおば祭り 健康相談コーナー・パワーアシストスーツの体験会

III. ショートステイ事業

1. 月別実施状況

	利用者数			延利用 床数	契約 床数	利用率 %	1日平均 利用者数
	男	女	計				
4月	7	20	27	292	300	97.33%	9.73
5月	6	17	23	275	310	88.71%	8.87
6月	8	16	24	266	300	88.67%	8.67
7月	10	18	28	272	310	87.74%	8.77
8月	8	17	25	268	310	86.45%	8.65
9月	9	16	25	272	300	90.67%	9.07
10月	9	21	30	296	310	95.48%	9.55
11月	7	17	24	294	300	98.00%	9.80
12月	7	16	23	292	310	94.19%	9.42
1月	5	18	23	275	310	88.71%	8.87
2月	7	20	27	289	280	103.21%	10.32
3月	6	17	23	299	310	96.45%	9.65
年間計	89	213	302	3,380	3,650	92.60%	9.26

IV. 研修、会議

1. 会議

会 議 名	実施回数	備 考
入所検討委員会	12	入所対象候補者の検討について
ケアカンファレンス	24	ケアプランの立案、見直し
栄養ケアカンファレンス	24	食事摂取状況のモニタリング、個別的な食事内容の検討
幹部会議	11	幹部職員による総合的な全体会議
生活向上委員会	4	排泄、入浴、リハビリ、施設環境美化、リネン関係などの総合的な検討
褥瘡委員会	12	褥瘡予防について
衛生委員会	12	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	6	広報誌作成等
感染症対策委員会	7	感染症の防止について
省エネ委員会	6	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	13	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	8	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	8	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	7	食事環境の整備について
OJT・研修委員会	8	全職員のスキルアップのための研修等の計画、検討
職員会	8	職員の意見交換
災害対策委員会	7	防災と災害対策について
法人BCP会議	12	法人BCP、消防、避難訓練計画策定
ICT検討委員会	6	ICT機器の評価、業務オペレーション検討
行事委員会	9	行事・クラブ活動・レクリエーションの充実

2. 職場内研修 第2有隣ホーム、有隣ケアセンター、一部合同企画

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数
イーケアラボ法定研修（web研修）	4/1～3/31	1	全職員
感染症対策研修（感染症基礎WEB研修）	10月～11月	2	33
感染症対策研修（ノロウイルス施設内実地研修）	2/3、2/5、2/7、2/10	4	8
感染症対策研修（国立国際医療研究センター施設内ラウンド）	6/13	1	3
感染症対策研修（国立国際医療研究センターWEB研修）	3/25	1	4
有隣ホーム合同（リスクマネジメント研修・緊急時対応）	5/15、8/21	1	1
外部講師による基本接遇研修・部下指導研修	3/5、3/18	2	9

3. 施設外研修

介護支援専門員 実務研修	相談員
見守りシステム メーカー導入研修	多職種
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー研修	介護職員
日本ユニットケア推進センター ユニットリーダー研修	介護職員
認知症介護実践者研修	介護職員
日本ユニットケア推進センター ユニット施設管理者研修	施設長
区内福祉避難所連絡会	施設長
ユニット型特養ホーム研修会 「先進法人から学ぶ生産性向上への取り組み」	施設長
社会福祉事業者従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ	施設長
世田谷区福祉人材育成・研修センター 専門性向上研修	介護職員
アンガーマネジメント研修	介護職員
東京都福祉保健財団 アドバンスト施設交流会	施設長
介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	施設長
世田谷区福祉人材育成・研修センター 中堅職員研修	介護職員
特定給食施設講習会	管理栄養士

V. 職員構成

職 種	運営規 程に 基づく 配置数	常勤職員						非常勤職員					
		今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者
				入	出					入	出		
施設長	1	1					1						
生活相談員	2	2					2	1					1
医師	1							1				1	0
機能訓練指導員	1	1					1	1		1			0
看護職員	4	2					2	5	1			1	5
介護職員	29	28 (2)	5	4	4	3	30 (3)	6				1	5
(内 介護福祉士)		(24)					(24)	(3)				(1)	(2)
介護支援専門員	2	(3)					(3)						
事務員		2					2	1					1
栄養士	2	5	2			1	6						
調理員								9	1			2	8
衛生員													
日直員								2					2
その他								1					1
用務員								(委託)					(委託)
計(兼務除く)	42	41	7	4	4	4	44	27	2	1	6	6	22

※退職者には年度末退職者を含む ※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

() 内は兼務職員数

※すべて従来型とユニット型を合計した人数で記載 ※非常勤医師については2025年度4月採用あり

常勤の平均年齢＝42.084歳、平均勤続年数＝7.915年

年度末退職者

非常勤の平均年齢＝55.530歳、平均勤続年数＝5.879年

常勤 名非常勤 名

VI. 防災対策 防災訓練 (第2有隣ホーム・有隣ケアセンター)

月別	訓 練 内 容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職 員	利用者
2024年9月	法人全体自衛消防訓練	あり	5	-
2025年1月	新棟避難訓練	あり	14	-
2025年2月	BCP図上訓練	なし	7	-
2025年3月	世田谷区いつせいシェイクアウト訓練	なし	7	-
2025年3月	福祉避難所設置図上訓練	なし	7	-

VII. 施設・設備整備

項目	金 額
施設整備 (建物)	1,402,894,738 円
太陽光発電システム (特養分)	6,083,000 円
リクライニング式シャワー入浴装置	4,554,000 円
入浴装置アビット×4	7,394,703 円
全自動洗濯脱水機×2	4,291,054 円
汚物除去機×2	1,690,416 円
介護ソフト BlueOceanNote 1式	6,821,694 円
厨房機器 ニュークックテル	30,028,704 円
厨房機器 業務用冷蔵冷凍庫等	5,578,176 円
厨房機器 チルド庫	2,481,408 円
電話交換機	2,390,784 円
防災カーテン	3,432,000 円
	円
	円
	円

2024年度 有隣ケアセンター事業報告書

中期行動計画及び2024年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

1. 権利擁護の徹底

- (1) 職員自らの振り返りを定期的に行い、虐待を防止した。
 - ・「虐待の芽チェックリスト」実施率100%を継続した。
- (2) 虐待防止委員会の取り組みを強化した。
 - ・虐待の芽チェックリストの結果を分析し、対策を講じた。
 - ・虐待防止マニュアルを検証、更新した。
- (3) 権利擁護・虐待防止研修を実施した。
 - ・外部講師を活用した研修に参加し、研修内容を職員間で共有した。(2月19日)
- (4) 家族による虐待を発見し、行政との連携により、緊急ショートステイの受入れ調整の後、有隣ホーム本入所へと繋ぎ、緊急保護を実現した。

2. 介護人材の育成

- (1) 必要な研修を実施した。
 - ・外部講師を活用し、感染症や災害に係る業務継続計画等の関連研修を行った。(3月19日)
 - ・防災訓練は例年第2有隣ホームと合同で行うが、今年度は単独で実施した。

3. 介護現場の改革

- (1) 大型送迎車両を導入し、車椅子乗車の対応数を増やした。
- (2) 送迎担当職員の利用者に対する安全配慮、緊急時のサポート体制について定期的に見直した。
 - ・利用者毎に異なる対応について資料を作成し、担当職員間で共有した。
- (3) 送迎専任職員を2名採用し、介護職員の送迎業務軽減を図った。

4. 移転後の新たなデイサービスの展開

- (1) 利用者、家族への対応
 - ・移転について利用者、家族に向けて説明会を実施した。(10月5日)
 - ・入浴設備の変更について説明し、家族の理解を得た。
- (2) 機能訓練の拡充
 - ・有隣病院の理学療法士と協働し、機能訓練対象者数を拡大した。
 - ・有隣病院の理学療法士と連携を取ることで、家族及びケアマネージャーへ広報した。
 - ・理学療法士が不在の日に実施できる『介護職による集団リハビリ』のプログラムを考案し、加算の取得はできないものの、利用者へのサービス向上に繋がった。
- (3) 運用計画・設備計画
 - ・移転前後、有隣ホーム関連各部署との調整に努めた。
 - ・移転後スムーズに運用できるよう、送迎車の駐車場所を検討し、送迎車からフロアまでの動線の確認等、シミュレーションを行った。
 - ・移転前に全介護職員が新しい入浴設備の操作方法を習得し、移転後は円滑に入浴介助を実施できた。
 - ・また脱衣所を3分割して時間差で準備しておくことで、効率よく設備を利用することができた。
 - ・有隣ホームのロビーと隣接している環境を活かし、移転後の行事をロビーで行い、アクティビティの幅を広げた。

＜2024年度事業活動総括＞

当初予定されていた本部棟1階への移転は2ヶ月間の休業が余儀なくされることから、有隣ホーム1階への移転案が決定となり、急遽デイサービスに必要最低限の補修工事を行った。
ケアセンターにとって、休業することなく営業を続けることが最優先課題であった為、かなり厳しいスケジュールであったが達成した。また入浴設備の変更が大きな障壁となり、入浴を中止する利用者が複数出る一方、利点を広報することで大半の利用者・家族に理解を得ることができた。

I. 介護保険 通所介護・介護予防通所介護

1. 通所介護（要介護） 月別利用者状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
通介 要介護1	延利用者数	49	61	56	59	59	63	64	56	60	58	59	67	711	10.7%
通介 要介護2	同上	91	86	94	106	81	92	97	91	87	83	86	102	1,095	16.6%
通介 要介護3	同上	188	189	180	179	174	174	183	187	178	169	163	199	2,163	32.6%
通介 要介護4	同上	107	107	103	118	146	120	142	129	112	114	99	143	1,440	21.7%
通介 要介護5	同上	119	106	106	110	104	110	109	104	96	88	87	95	1,234	18.6%
個別機能訓練加算	延対象者数	346	365	365	430	384	405	430	393	347	369	333	397	4,554	68.6%
入浴加算	同上	357	348	350	356	359	341	379	355	312	294	297	376	4,124	62.1%
延利用者数		654	649	539	572	564	559	595	567	533	512	493	606	6,643	100.0%
営業日数		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308	
1日平均利用者数		21.3	20.3	21.6	21.2	20.9	22.4	22.0	21.8	22.2	21.3	20.5	23.3	21.6	

2. 介護予防通所介護（要支援） 月別利用者状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
介予 要支援1	延利用者数	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51	27.1%
介予 要支援2	同上	8	10	11	10	14	12	12	14	11	11	8	16	137	72.9%
延利用者数		12	15	15	15	18	16	17	18	15	15	12	20	188	100.0%
営業日数		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308	
1日平均利用者数		0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.8	0.6	

3. 通所介護（要介護）＋介護予防通所介護（要支援） 合計月別利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数		666	664	554	587	582	575	612	585	548	527	505	626	6,831
営業日数		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
1日平均利用者数		21.8	20.9	22.2	21.7	21.6	23.0	22.7	22.5	22.8	22.0	21.0	24.1	22.2

平均利用者数 R06年度 22.2人 R05年度 21.7人 R04年度 18.3人
 延べ利用者数 R06年度 6,831人 R05年度 6,700人 R04年度 5,643人
 年間営業日数 R06年度 308日 R05年度 309日 R04年度 309日

4. 年齢構成（介護予防通所介護＝要支援、通所介護＝要介護） 3月末

	年齢	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
要支援	男						1				1		2
	女								1	1			2
	小計						1		1	1	1		4
要介護	男	1		2	2	4	5	8	6				28
	女				2	1	11	20	10	5			49
	小計	1		2	4	5	16	28	16	5			77
総合計	男	1		2	2	5	5	8	6	1			30
	女				2	1	11	21	11	5			51
	合計	1		2	4	6	16	29	17	6			81

平均年齢 男 82.4歳 女 87.3歳 計 85.5歳

5. 登録者の推移

	前年度末	新規登録者	認定変更	今年度合計	廃止	認定変更	年度末登録者
要支援	介護→支援			支援→介護			
	3	2	0	5	0	1	4
要介護	支援→介護			介護→支援			
	77	33	1	111	34	0	77
合計	80	35	1	116	34	1	81

6. 廃止理由

要介護+要支援

長期入院	施設入所	重度化	他施設	死亡	転居	その他	合計
1	15	7	2	7	0	2	34

7. 1週間あたりの利用者別通所回数 3月末

	週に1回	週に2回	週に3回	週に4回	週に5回	週に6回	不定期6回	計
要支援1	1							1
要支援2	2	1						3
要介護1	2	4	2					8
要介護2	5	3	5					13
要介護3	6	12	3	2	1	1		25
要介護4	5	8	4			1		18
要介護5	5	4	1			1		11
合 計	26	32	15	2	1	3		79

II. 地域交流

1. ボランティア受入れ

ボランティア	人数	活動内容
個人	86	お茶出し・歌の会・夏祭り・敬老会・新春会
琴・桐の会	17	敬老会楽器演奏
ちとにこダンスクラブ	18	クリスマス会
計	121	

2. 訪問

今年度受け入れなし

3. 実習受入

学校、団体等名称	延日数
東京医療学院大学	31
計	31

4. 体験学習

今年度受け入れなし

5. 見学等

名称	人数
個人	72
団体	9
計	81

III. 研修

1. 施設内研修

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数
イーケアラボ (web研修)	4/1~3/31	—	全職員
感染症実地研修 (ガウンテクニック)	9/20、9/23、9/29、9/30	4	9
感染症実地研修 (手洗い方法)	1/22、1/23、1/25、1/26、1/31、2/5	6	9
介護現場におけるハラスメント対策研修 (有隣ホーム外部講師研修)	4/17	1	1
事故発生または再発防止に関する研修 (")	5/15	1	1
医療に関する研修 口腔ケア研修 (")	7/17	1	1
緊急時の対応に関する研修 (")	8/21	1	1
ターミナルケアに関する研修 (")	9/16	1	1
非常災害の対応に関する研修 (")	10/16	1	1
プライバシー保護、倫理、法令順守に関する研修 (")	11/20	1	1
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 (")	1/15	1	1
高齢者虐待防止及び身体拘束排除に関する事例理解研修 (")	2/19	1	1
感染症の予防及び事業継続計画に関する事例理解研修 (")	3/19	1	1

2. 施設外

今年度実施なし

IV. 会議

会 議 名	実施回数	内 容
衛生委員会	4	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	6	広報誌作成等
感染症対策委員会	7	感染症の防止について
省エネ委員会	6	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	11	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	4	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	4	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	1	食事環境の整備について
業務改善会議	12	業務改善・行事・食事提供関連について
災害対策委員会	3	防災と災害対策について
ICT本部会議	20	法人内感染症対策について

V. 防災対策 防災訓練

実施月	訓 練 内 容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職 員	利用者
6月	地震訓練 防災頭巾を着用、動ける利用者はテーブルの下にかがむ練習	なし	5	23
9月	地震訓練 //	なし	6	25

VI. 職員構成

職種	常勤職員					非常勤職員				
	今年度当初 在籍者	採用	異動 入 出	退職	次年度当初 在籍者	今年度当初 在籍者	採用	異動 入 出	退職	次年度当初 在籍者
所長	1(1)				1(1)					
生活相談員	3(3)				3(3)					
機能訓練指導員						1	1		1	1
介護職員	5(2)			1	4(2)	3	1		2	2
送迎専任ドライバー						1	2		1	2
その他										
実人数 計	6			1	5	5	4		4	5

※事務員・管理栄養士は特養と兼務

() 内は兼務職員数

※機能訓練指導員の一部及び看護職員は特養から随時派遣

※退職者には年度末退職者を含む

※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢＝54.465歳、平均勤続年数＝16.558年

年度末退職者

非常勤の平均年齢＝53.956歳、平均勤続年数＝10.652年

常勤 名

非常勤 名

2024年度 有隣病院 事業報告書

有隣病院 の 基本方針	●中期経営目標の達成に向け「有隣病院の基本方針」を定める 1. 患者さんを尊重した医療を実践します ① 適正な医療を分かりやすく丁寧に説明します ② 安心して納得していただける医療を行います ③ 意思と尊厳を大切にします ④ 信頼を得られるよう誠意をもって対応します 2. つねに自己研鑽し人格・知識・技能の向上に努めます 3. 職場では、チーム医療に徹し働きやすい労働環境にします
職員の 行動指針 (私達の誓い)	●中期経営目標の達成に向け「職員の行動指針」を定める より広く：地域に寄与し、地域に支持される病院づくりを進めます より厚く：真心と思いやりで日々の医療(診療・看護)を実践します より高く：病む人に学び、人の老いに学ぶ努力と研鑽を続けます
中期行動計画	●健診センターの開設 (継続中) ★協会けんぽとの協議・・・・・・・・・・2025年4月～2025年10月 ★C棟改修・健診センター設置・・・・・・・・2025年12月～2026年3月 ★協会けんぽ審査・センター開設・・・・・・・・2026年1月～2026年4月 ●健康教室等の開催 (継続中) ★健康フェスタ、太極拳教室、健康講演会等の開催 開催日調整不調次年度へ ●日本医療機能評価機構受審認定取得(2026年度取得に向けて) (継続中) ★機能評価受審準備 (継続中) ★審査項目確認・自己点検 (継続中) ★自己点検に対応する規程等の整備 (継続中) ●チーム医療の取組み強化と推進 (継続中) ★院内外の研修会参加増 (継続中) ★院内の研究活動発表会の開催 (開催済) ★医療安全・感染対策・NST・褥瘡対策チームの継続強化 (継続中) ★認知症・口腔・排泄ケアのチーム活動継続強化 (継続中) ●電子カルテシステム稼働 (2024年度稼働) ★電子カルテシステム稼働後の運用と検証 (継続) ★電子カルテシステムの連携(東京総合医療ネットワーク21病院へ参加、実施済)

	詳細事項・具体的取組事項
【経営改善】	●経費の節減 ① ジェネリック薬品の使用促進（90%以上維持（継続中）） ② 光熱水量の使用量監視（継続中） ③ コスト意識を持ち、積極的に経費削減に努める。（標語、冷暖房温度指針など）
【人材育成】 研修・教育の 取組み	●1. チーム医療の取組み強化と推進（病院全体の取り組み） ① 院内外の研修会への参加（伝達講習の含む）（継続中） ② 院内の研究会・発表会の開催（継続中） ③ 医療安全・感染対策・NST・褥瘡対策チームの継続強化（継続中） ④ 認知症ケア・口腔ケア・排泄ケアのチーム活動の継続強化（継続中） ⑤ 多職種カンファレンスの継続強化（事例検討会を含む。）（継続中） ●2. 研修教育の充実（eラーニング活用）（継続中） ●3. 各部門の取り組み ① 教育委員会活動（継続中） ② 実習指導者研修受講奨励（継続中） ③ 学会・研究会への参加と演題発表の推進（継続中） ④ 院内全職員向け BLS 講習会開催：教育委員会主催（継続中） ⑤ 認知症に関する研修会の開催：教育委員会主催（継続中） ⑥ 外部講師による院内講演会：教育委員会と共同（継続中）
【地域貢献】 健康教室等の 開催	●地域病院として、社会活動の拠点としての役割を果たす。 ① 法人として医療と介護が連携し地域社会に貢献する。（継続中） ② 健康フェスタ、健康サロンの開催（日程調整不調⇒次年度6月開催） ③ 太極拳教室の開催（日程調整不調⇒次年度開催検討） ④ 船橋地区住民対象の講演会、医療相談、健康教室等の開催（随時開催⇒継続）
【医療安全】	●「医療安全管理委員会」、「院内感染防止対策委員会」活動の継続（継続中）
【危機管理】	●防火・災害対策の法人全体としての取り組み及び委員会の定期的な開催 ① 消防・避難誘導訓練（昼間・夜間）（年2回実施） ② 地震想定による防災計画及び避難誘導訓練（年1回実施） ③ 事業継続計画（BCP）検討強化・訓練検討（次年度検討）
【その他】	●建物設備の管理強化：屋上防水・外壁・設備機器等の改修・更新（継続） 2025年度施設・設備整備基本計画表に基づき、屋上防水工事を実施予定 ●地域医療連携の推進
無料低額 診療事業	1. 無料低額診療事業 年間総延患者（入外）の10%以上（生活困窮者）の達成（継続） 2. 「無料低額診療事業の指針及び規程」の遵守（継続）

2024年度 有隣病院 活動の概要

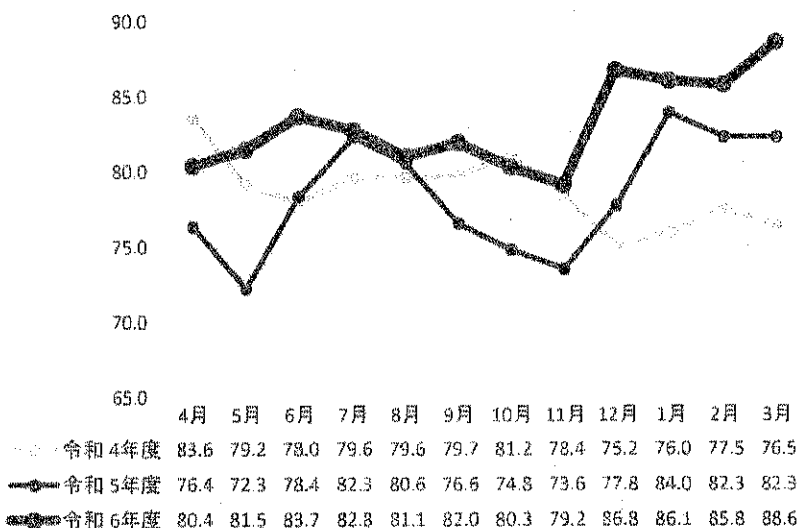
【入 院】

《病床稼働》

■令和 6 年度は、回復期リハ病棟に関わる職員の努力のみならず、地域一般病棟を障害者施設等一般病棟に転換したことにより、基準(60 日以内)の平均在院日数を満たす要件が撤廃されたため、病床稼働を重点に置いた病棟運営に切り替えたことから、(障害)一般病棟における病床稼働も上昇、よって、直近 3 か年で最も高い病床利用率を示した。一方で、夏～秋期にやはり病床稼働が落ち込んでしまう傾向のため、当該時期にどのような運営で病床利用率を維持していくのか、次年度以降の重要な課題となる。

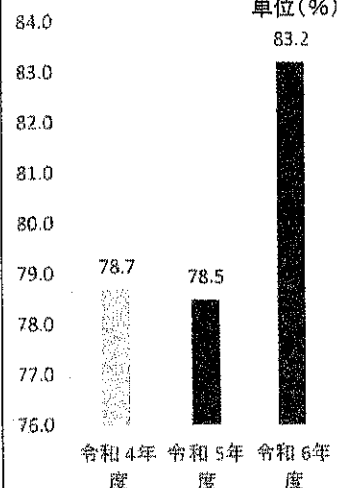
(直近3か年)病床利用率の推移

単位(%)



病床利用率
年間平均

単位(%)

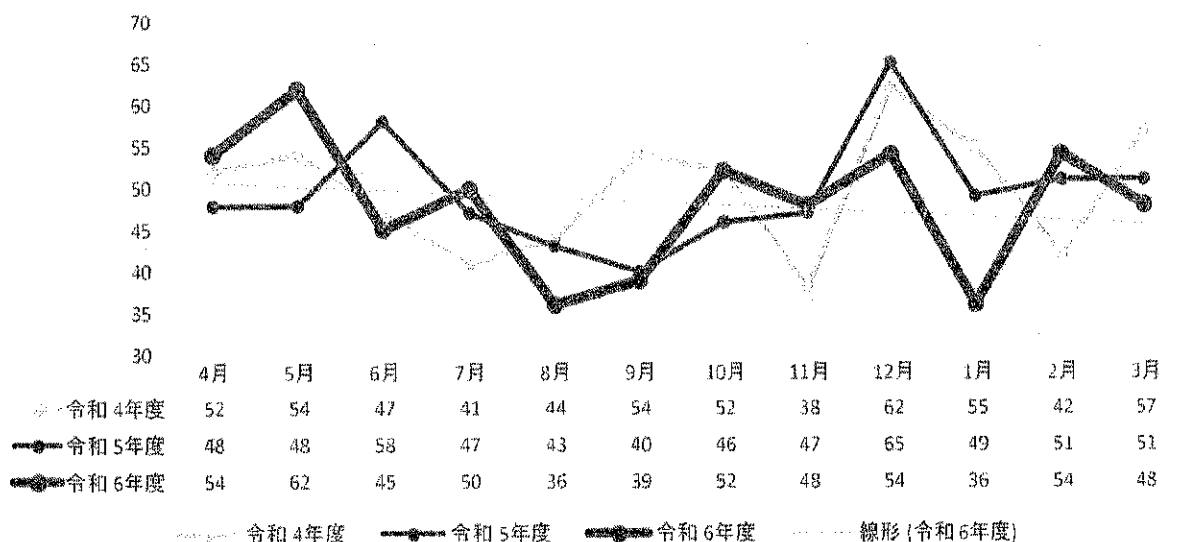


《入院件数》

■直近 3 か年では最も低い推移となっているが、これは純粹に患者数が減少したのではなく、(障害)一般への病棟転換により、逼迫した入退棟調整が必要なくなった(病棟回転が落ち着いた)ことが要因に挙げられる。現に、回復期リハビリテーション病棟のみでは、令和 5 年度 350 件→令和 6 年度 370 件と 20 件上回る。

(直近3か年)月別入院件数の推移

単位(件)

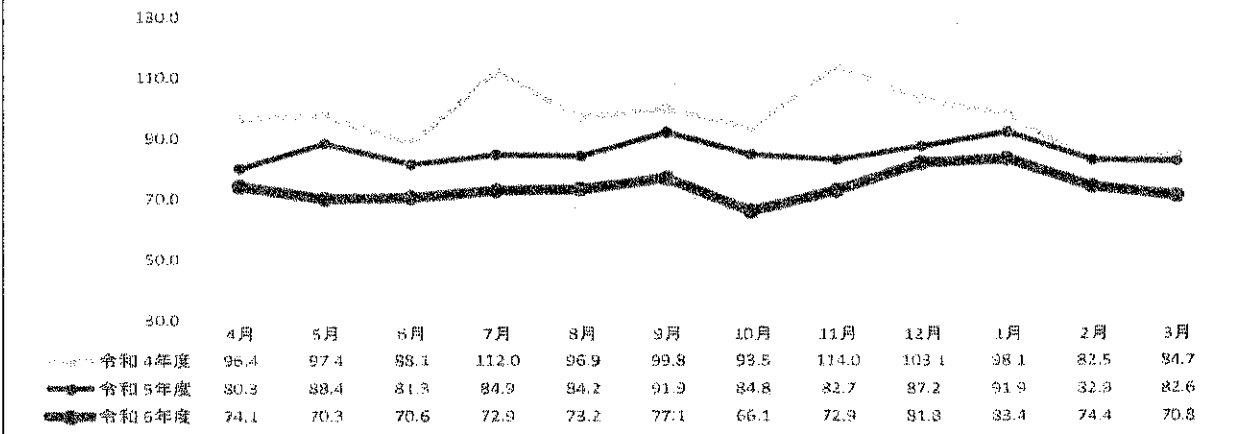


【外 来】

■年々減少傾向ではあるものの、令和5年度までは新型コロナウイルス感染症による発熱外来への受診者数が大きく影響している。令和6年度も新型コロナウイルス感染症の流行期はあったが、最盛期間と発熱外来への受診者数は令和5年度以前よりも縮小または減少している。よって、定期受診患者数としては、グラフによる推移のような顕著な差異は無い。

(直近3か年)外来1日平均患者数の推移

単位(人)



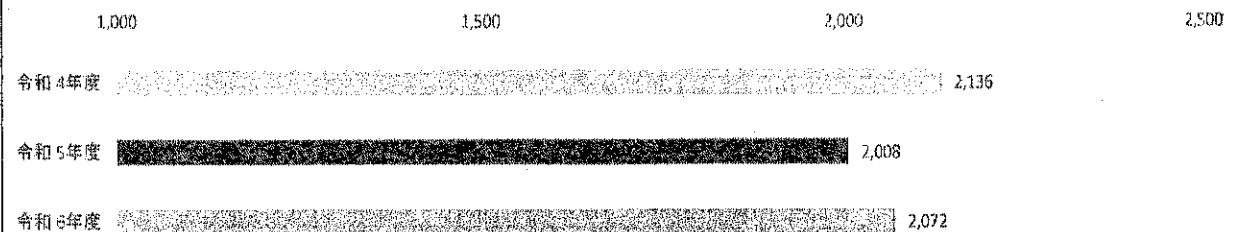
注) 併設施設入居者の受診者数を含む。

【医業収益及び損益】

■令和6年度は病床利用率が前2か年を上回っているため、順当であれば医業収益は更に見込めた。要因は、診療報酬改定の影響(体制強化加算廃止、運動器リハ6単位制限、医療区分の見直し等)と、疾病構造の変化(診療単価の高い脳血管疾患患者減)で、収益確保の大きな支障となった。支出増にはベースアップ評価による人件費増はあるも、仮設厨房棟の減価償却や新棟への移設費用に想定以上の支出が生じた。

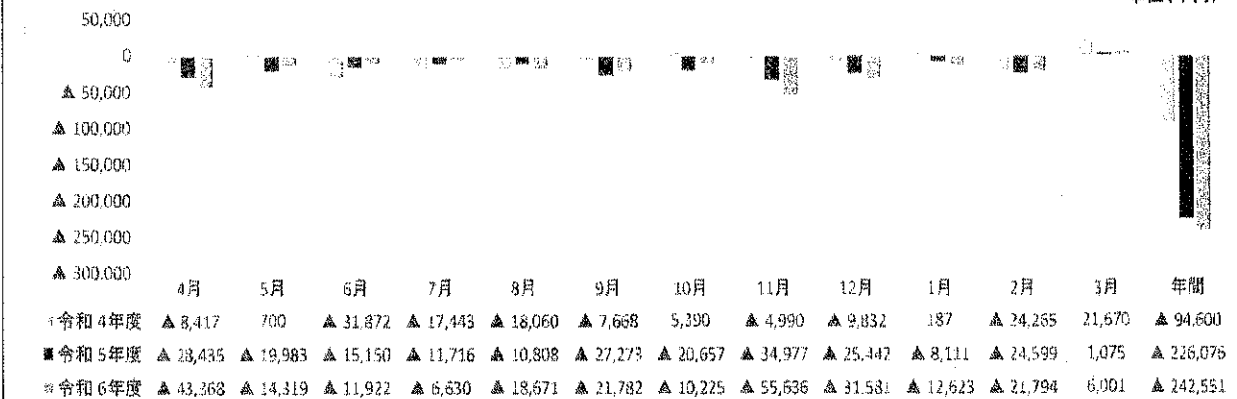
(直近3か年)年間医業収益比較

単位(百万円)



(直近3か年)月次損益の推移

単位(千円)



単位(名)

外来・入院
診療実績

	外 来			入 院			
	医 科	歯 科	計	一般病棟	療養病棟	回復リハ病棟	計
年間延べ患者数	17,935		17,935	14,249	17,414	28,771	60,434
前年度	20,788	116	20,904	12,587	17,599	28,960	57,146
月平均	1,495	0	1,495	1,187	1,451	2,398	5,036
1日あたり	73.8	0.0	73.8	39.0	47.7	78.8	165.5
前年度	85.5	14.5	105.1	34.4	48.1	73.7	156.2

入退院と
在院日数

入退院(一般その他間転入転出)と在院日数							
	一般病棟	療養病棟	回復期リハ病棟	計	対前年差異	対前々年差異	
新入院(転入)	206名 (18名)	2名 (65名)	370名 (17名)	678名	54名減	48名減	
退 院(転出)	135名 (82名)	65名 (1名)	369名 (17名)	669名	49名減	71名減	
平均在院日数	64.6日	261.9日	74.4日	89.7日	※平均在院日数		
5年度/4年度	54.0日/49.8日	192.4日/174.2日	77.7日/73.7日	83.4日/78.0日	延べ入院患者数÷		
病床回転率	5.7回	1.4回	4.9回	4.1回	(新入院・転入数+退院・転出数)÷2		
前年度	6.8回	1.9回	4.7回	4.4回			

入院経路
と退院先

新入院(名)							退院(名)					
年齢区分	患 者 数			入院経路別内訳			入院から退院までの期間	自宅退院	転院等	施設へ	死亡	計
	男	女	計	外来他	転入院	施設から						
50歳未満	5	0	5	0	5	0	1か月未満	36	23	27	24	110
50歳台	17	5	22	9	12	1	1か月以上～3か月未満	190	22	61	21	294
60歳台	13	7	20	1	19	0	3か月 " ～6か月 "	35	10	43	26	114
70歳台	52	44	96	14	81	1	6か月 " ～9か月 "	0	9	4	10	23
80歳台	95	186	281	29	224	28	9か月 " ～12か月 "	0	3	1	5	9
90歳超	46	108	154	8	122	24	12か月 " ～15か月 "	0	7	0	1	8
計	228	350	578	61	463	45	15か月 " ～18か月 "	0	1	1	2	4
※「施設から(へ)」は、有隣(第2有隣)ホーム、芦花ホームを示す。							18か月 " ～24か月 "	0	0	0	5	5
※退院の「転院等」は、他の特養及び老人保健施設入所を含む。							24か月以上	0	0	1	1	2
5年度	262	331	593	70	478	45	計	261	75	138	95	569
4年度	260	338	598	60	487	51	平均入院期間	69.9	128.5	90.7	150.6	96.2
							5年度	65.2	145.9	41.1	115.1	109.9
							4年度	65.2	145.9	41.1	115.1	109.9

診療費の
行為別内訳
(1人1日当)

										(円)
医 科 外 来	年	診察料	投薬	注射	処置	手術	検査	画像診断	リハビリ	計
	4年度	1,316	195	1,218	41	20	1,759	284	416	5,249
	5年度	1,305	609	1,386	45	37	1,407	356	531	5,875
	6年度	1,806	196	1,896	57	33	1,331	396	626	6,340

(円)

入 院	年	入院基本料 食事療養費	診 療 料									合 計
			投薬	注射	処置	手術輸血	検査	画像診断	リハビリ	診察料	計	
一 般 病 棟	4年度	17,558	373	1,849	856	54	908	245	1,557	30	5,873	23,431
	5年度	15,171	265	2,459	1,070	52	1,011	323	1,712	31	6,924	22,095
	6年度	17,017	280	1,853	775	11	662	218	2,043	180	6,022	23,040
療 養 病 棟	4年度	18,915	16	0	378	2	136	30	399	1	965	19,880
	5年度	18,198	3	0	252	15	16	33	321	0	639	18,941
	6年度	18,089	2	0	347	4	3	29	576	0	994	19,083
回 復 リ ハ	4年度	27,371	92	10	0	0	269	5	14,331	0	15,307	42,679
	5年度	25,661	141	1	0	0	70	3	15,184	0	15,399	41,938
	6年度	24,432	89	0	0	0	10	4	14,660	20	14,782	39,214

投 薬
薬剤管理

	年間計				1日当				投薬・注射・処置の年間合計診療報酬(点)	
	処方箋枚数	(前年度)	調剤件数	(前年度)	枚	(前年度)	件	(前年度)	処方技術料	薬剤料
入 院	17,143	15,159	32,862	28,975	57.7	51.2	110.6	97.9	66,231	2,500,033
外 来	547	1,973	1,057	3,474	1.8	6.7	3.6	11.7	40,082	3,690,241
院外処方	0	0			0	0				
計	17,690	17,132	33,919	32,449	59.5	57.9	114.2	110	106,313	6,190,274

◇薬剤管理指導料 646件 ◇薬剤情報提供料 990件 ◇退院時薬剤情報管理指導料 35件 ◇無菌製剤処理加算(LVH) 1,669件

検 査

入院外来計	上部内視鏡	下部内視鏡	超音波	その他 生理機能	生化学	血液	輸血	細菌	尿	病理	PCR検査	計	「検査」全体の 診療報酬(点)
4年度	210	43	327	2,830	5,172	5,048	105	540	2,680	30	7,088	24,073	7,802,349
5年度	226	50	285	2,684	4,297	5,709	119	1,057	2,787	30	2,690	20,134	5,155,464
6年度	240	31	340	2,814	6,124	5,174	94	611	2,836	50	2,423	20,737	3,370,878
1ヶ月当り	20	3	28	235	510	431	8	51	238	4	202	1,728	280,907
1日当り	0.7	0.1	0.9	7.7	16.7	14.1	0.3	1.7	7.7	0.1	6.6	56.7	9,210

画像診断

	一般・パントモ撮影		造影剤撮影		CT		計(健診含まず)		診療報酬(点) (健診等含まず)
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	
4年度	5,516	8,191	109	148	1,401	0	7,026	8,339	1,309,341
5年度	5,646	8,364	151	192	1,388	0	7,185	8,556	1,398,714
6年度	4,518	6,740	137	181	1,099	0	5,754	6,921	1,067,749
1日当り	18.6	27.7	0.6	0.7	4.5	0.0	23.7	28.5	4,394.0
入院	2,453	3,014	103	106	678	0	3,234	3,120	376,148
外来	2,065	3,726	34	75	421	0	2,520	3,801	691,801

フィルムレス化のCT枚数は、〇となります。(画像管理加算算定)

リハビリ
テーション

	外 来			入 院			計			
	実施者数	年間単位数	1日当	実施者数	年間単位数	1日当	実施者数	年間単位数	1日当	PT・OT・ST 1人1日当
理学療法	20	462	1.27	558	130,878	358.6	578	131,340	359.8	16.0
作業療法	2	12	0.0	539	53,355	146.2	541	53,367	146.2	15.2
言語療法	0	0	0.0	252	23,873	65.4	252	23,873	65.4	16.0
計	22	474	1.3	1,349	208,106	570.2	1,371	208,580	571.5	15.8
診療報酬	年間総点数 87,950			年間総点数 43,140,001			年間総点数 43,227,951			

保健予防
活動

	件数	(前年度)	受託料	(前年度)	備 考
特定健康診査	585	714	9,343,272	11,923,955	
区胃肺乳癌検診	937	1,944	3,547,369	12,129,677	胃がん内視鏡、大腸がん検診含む
区骨粗鬆症検診	9	16	50,346	81,664	
区肝炎ウイルス	15	31	71,899	162,455	
膠原病検診	7	13	140,132	167,084	
その他個人健診	936	478	9,469,614	5,728,054	季節性インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチン
事業所健康診断	343	338	4,542,876	3,483,519	事業所数32社
施設職員定期健診	203	320	2,334,110	2,124,140	有隣ホーム等職員健診、定期健康診断、施設職員雇用時健診含む
施設入所時健診等	663	495	1,663,380	1,025,469	入所時検診、定期便検査等
日帰り人間ドック	76	49	776,910	558,300	
特定保健指導	28	45	229,089	465,004	
計	3,802	4,343	32,188,977	37,849,321	

医療
相談室

件		件	
1) 受診の援助	268	4) 家族問題についての援助	14
2) 入院の相談受けと援助	16,621	5) 日常生活援助	27
3) 退院の援助	19,025	10) 心理・情緒面での援助	7
4) 療養上の問題についての援助	765	11) 医療における人権擁護	23
5) 経済上の問題についての援助	174	12) その他	6,087 (1日当)
6) 就労についての援助	5	合計	43,139 118.2
7) 住宅についての援助	123	13) クライアント処遇会議	325

入院時
食事療養

		前年度(人)	6年度(人)	1日当	%
常食		11,923	12,412	34	28.2%
軟食	軟菜食	9,278	10,793	29.8	24.8%
	嚥下訓練食	2,336	1,844	5.1	4.2%
流動食		14	141	0.4	0.3%
特別食	糖尿病食	3,947	4,636	12.7	10.5%
	減塩食	2,101	1,771	4.9	4.0%
	胃潰瘍食	58	68	0.2	0.1%
	腎臓病食	159	148	0.4	0.3%
	胆石病食	782	835	2.3	1.9%
	経管栄養	8,909	9,717	26.6	22.0%
	その他	1,174	1,726	4.7	3.9%
計		40,679	44,089	120.8	100.0%

◆1日平均栄養給与量

純給与量		
熱量	蛋白質	脂質エネルギー比
Kcal	g	%
1,402	60.9	28.7

栄養相談
栄養管理
委員会

◆栄養相談 (件)						
	糖尿病	原形糖尿病	高血圧・心臓病	腎臓病	その他	計
入院	6	5	7	0	13	31
外来	167	8	15	0	1	191
計	173	13	22	0	14	222
◆特定保健指導 (件)						
	今年度		前年度		計	
	動機付	積極的	動機付	積極的	今年度	前年度
初回	16	6	14	8	1回平均	0
中間	0	24	0	26	0	0
結果	12	1	11	8	0	0
小計	28	31	25	42	0	0
合計	59		87			
月平均	4.9		5.6			

◆栄養管理職員

(委員7名)毎月第2水曜日×12月

入院時食事療養の施設上の留意事項、経管栄養別検討、院内インシデント報告、栄養指導等

◆嗜好調査 4回(12、1、2、3月)

無料低額
診療事業

	生保受給者の 受入れ	全医療費の10%以上の 減免	身障者等の 受入れ	計	H30.41~H31.331 延患者数	実績率	前年度
	延べ人数a	延べ人数b	減免額(円)c	A(a~c)	B	A/B	
入院	5,229	5	36,940	1,851	7,085	80,434	11.7%
外来	812	12	158,350	780	1,604	18,945	8.5%
計	6,041	17	195,290	2,631	8,689	79,379	10.9%
無料健康教室の開催		新型コロナウイルス感染対策予防のため、中止					

光熱水の
消費

	電力・kw/h		水道(下水料金)・m³		都市ガス m³		計	
	6年度	前年度	6年度	前年度	6年度	前年度	6年度	前年度
年間消費量	1,167,368	1,176,137	16,891	16,365	90,925	80,199		
1日当り	3,198	3,222	46	45	249	219		
消費金額(円)	33,491,717	32,020,061	11,139,122	10,374,152	9,251,784	7,578,834	53,882,623	49,973,047
1日当り	91,758	87,728	30,518	28,422	25,347	20,764	147,623	136,912

院内保育室
の運営

保育室 開所日数	内、夜間 保育日数	保育児童数		1)年間運営費	25,604,858円
		実人員	延べ人数	内、運営委託費	22,728,219円
327日	51日	22名	1,681名	2)利用病院職員負担金	2,030,440円
				3)東京都補助金	3,254,000円

職 員

	常勤職員数		非常勤	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用 退職		常勤職員数		非常勤	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用 退職
	計画	実績	実績					計画	実績	実績			
医師・歯科医師	11	11.0	6.2	17.2	6.3	1	歯科衛生士	2	1.0		1.0	0.4	
薬剤師	6	6.0		6.0	2.2		医療技術員助手	6	2.0		2.0	0.7	
診療放射線技師	3	3.0		3.0	1.1		ボイラー技士	3	3.0		3.0	1.1	
臨床検査技師	5	3.0	0.9	3.9	1.4		その他技能職	8	3.0	2	5.0	1.8	
理学療法士	52	48.0		46.0	16.9	11	クレーン	5	4.0	2.4	6.4	2.3	
作業療法士	24	18.0		18.0	6.6	5	事務職員	18	15.0	8.2	23.2	8.5	3
言語聴覚士	9	7.0		7.0	2.6	2							
医療ソーシャルワーカー	8	8.0		8.0	2.9	3	計	287	217.0	39.4	256.4	93.7	36
管理栄養士	4	5.0	1.4	6.4	2.3	3							
看護師	60	41.0	13.8	54.8	20	7	前年度	266	217.9	32.3	249.2	91.1	33
准看護師	22	12.0	2.1	14.1	5.2	1							
ケアワーカー	40	29.0	2.4	31.4	11.5	1	業務委託 寝具類貸与、院内保育室						

有隣病院

施設・設備 (固定資産) の整備	区分	室名等	項 目	型 式 等	数量	整備費 (円)
建物	A棟		建築工事(新棟)		1式	1,232,896,898
			A棟2,3F病室内洗面所ナースコール呼出し工事		1式	1,285,000
			天井りモニター用架台設置工事		1式	740,300
			新規壁増設工事		2	3,848,900
			カンファレンス室吸音板工事		2	288,932
			A棟～新B棟へ案内ライン工事		1式	687,800
	B棟		C棟建築工事(改修)		1式	38,826,148
			C1ネットワーク用非常電源回路増設工事		1式	319,000
	本部棟		別館B1Fリネ室内間仕切り工事が完了		1式	844,800
			同上吸音板工事		1式	144,468
		別館建築工事(改修)		1式	13,830,302	
建物(基本)計						1,293,662,548
建物付属設備	A棟		電気設備工事(新棟)		1式	4,281,335
			受変電設備工事(新棟)		1式	31,854,087
			発電機設備工事(新棟)		1式	17,729,566
			幹線設備工事(新棟)		1式	49,739,790
			動力設備工事(新棟)		1式	19,254,917
			電灯工外設備(新棟)		1式	74,307,110
			照明器具設備(新棟)		1式	23,316,364
			非常照・誘導灯(新棟)		1式	9,082,497
			医用接地設備(新棟)		1式	4,172,314
			太陽光発電設備(新棟)		1式	695,694
			車路管制設備(新棟)		1式	811,619
			電話設備工事(新棟)		1式	12,309,066
			LAN設備工事(新棟)		1式	5,572,017
			テレビ監視設備(新棟)		1式	3,979,220
			ナースコール設備工事(新棟)		1式	63,034,661
			待合呼出設備(新棟)		1式	639,155
			トイレ呼出設備(新棟)		1式	1,311,008
			インターネット設備工事(新棟)		1式	378,798
			ITV設備工事(新棟)		1式	3,448,828
			電気設備工事(新棟)		1式	5,572,940
			放送設備工事(新棟)		1式	11,210,554
			火災報知設備(新棟)		1式	18,267,272
			避雷針設備工事(新棟)		1式	3,180,974
			中央監視設備(新棟)		1式	5,528,595
			給排水設備工事(新棟)		1式	30,304,715
			消火設備工事(新棟)		1式	25,819,903
			排水通気設備(新棟)		1式	51,019,387
			衛生器具設備(新棟)		1式	55,889,242
			消火設備工事(新棟)		1式	85,413,264
			都市ガス設備(新棟)		1式	8,926,883
			医療ガス設備(新棟)		1式	50,102,881
			空調外設備(新棟)		1式	15,922,424
			空調配管設備(新棟)		1式	81,512,576
			換気設備工事(新棟)		1式	92,411,776
			自動制御設備(新棟)		1式	20,325,713
			空調設備		1式	145,658,547
			昇降設備		3	28,393,899
			心電図アンテナ工事		2	1,699,999
			電話配線工事(90%、2H10%)		1式	3,010,000
			電話機配線工事		1式	1,494,500
			ネットワーク工事一式		1式	5,265,161
			ネットワーク工事一式・ルーター		1式	10,765,700
	B棟		LAN工事(B2、B3ナースステーション)	2	508,200	
			C棟電気工事(改修)	1式	22,378,681	
			C棟火災報知(改修)	1式	1,236,599	
			C棟給排水(改修)	1式	12,317,021	
			C棟給水(改修)	1式	8,384,543	
			C棟空調換気(改修)	1式	12,888,018	
			C棟天井外4方(改修)	1	654,114	
			C棟天井外2方(改修)	2	1,368,902	
	本部棟		別館電気工事(改修)	1式	8,412,703	
			別館火災報知(改修)	1式	784,323	
			別館空調換気(改修)	1式	18,702,778	
			3/31別館追加工事	1式	931,150	
	保育室		見守りセンサー用LAN配線工事他	1式	1,134,100	
建物付属設備(基本)計						1,183,294,782
A2,A3		たっちあっぷ浴室用	オーシー技研CKA-Y24	4	420,200	
		中間器械浴槽	アマノA77R	1	1,914,000	
		安全懸架式リハビリリフト	モリト	2	9,902,504	
		連動昇降式平行棒	酒井医療SP-735H	1	737,435	
		足関節矯正起立板	オーシー技研GH-405	2	172,088	
		簡易上肢機能検査ステフ	酒井医療SOT-3000	1	181,764	

器具及び備品	リハビリ	マニュアルテーブル	タイガー医療H-286-D	3	1,461,009	
		移動式練習用階段	ミナト医科学B4190M	1	588,960	
		コードレスバイク	セノーBQ8620	1	250,822	
		超立練習傾斜デルトテーブル	ミナト医科学K3340MT	1	1,733,843	
		昇降式スタンディングテーブル	オーシー技研UA-3010	1	288,315	
		昇降式リハビリテーブル	酒井医療SOT-800M	1	194,156	
		練習用腰掛	ミナト医科学K1430MN	1	148,094	
		移動式姿勢矯正鏡	ミナト医科学K3160M	1	178,851	
		ジェントルスティム	フードケア	1	232,349	
		Ipad	アップル	1	130,880	
	シュレッダー	アスカS100	2	218,000		
	検査室	薬用冷蔵庫	フクシマFMS-F155GSX	1	315,700	
	医事・地連	コピー機	京セラ5054CI	2	1,027,400	
	保育室	自動体外式除細動器	日本光電AED-3100	1	188,100	
	サーバー室	電子カルデサーバー	日本HP: Xeon	1	73,972,871	
		電子カルデウィルス対策サーバー	日本HP: DL20	1	1,118,780	
		電子加算装置時加算参照BDサーバー	日本HP: DL160	1	1,789,440	
		電子加算サーバーバックアップ用NAS等機器	テラステーション	1	336,809	
		医事会計システムサーバー	日本HP: DL180	1	1,739,760	
		サーバーラック	日興通信	3	2,200,000	
		サーバー室無停電電源装置	APC: SMT1500	1	105,600	
					308,000	
	医事課	POSレジ	東芝テックQT-20T	2	2,547,800	
		リストバンドプリンター	ムーブ: OL-E331-LFX	2	264,792	
		オンライン資格確認用パソコン	ロジテックLB-JB18	1	287,870	
	リハビリ	リハビリ支援システム電子加算連携作業		1式	4,070,000	
	薬剤科	薬剤監理指導支援システムWEB連携費用		1式	1,375,000	
		Crestage-Solo2 散剤分包機		1式	2,123,000	
	放射線	OR電子カルテ導入ネットワーク接続費用		1式	880,000	
		画像読影端末 (OS/Win: 16GB/8		1式	2,578,689	
		画像読影用端末2Mモニター (RX270: 7ms/16		2	484,000	
		骨密度測定装置DCS-600EX/電子加算接続費用		1式	330,000	
	全体	処方注射解析システムラベルプリンター	ムーブ: OL-E300LFX	10	225,500	
		A棟IVT監視カメラ一式	セコム	1式	2,186,250	
		A3プリンター	京セラP8060	7	1,881,254	
		電子カルテ用スキャナー	キャノンDR-M280	14	2,219,942	
	研修	プロジェクター	エプソンEB-760W	2	387,586	
	A棟	電気壁掛型エアコンEH-HP-1		4	361,771	
	器具及び備品計					124,055,594
	金体	太陽光発電設備		1式	11,297,000	
機械及び装置計					11,297,000	
訪問リハ	電動自転車	ヤマハPA26WDX	1	126,458		
車両運搬具計					126,458	
ソフトウェア	全体	電子カルテプライムカルテパッケージソフト	プライムカルテ	1式	19,184,000	
		ミドルウェア (オラクル)		1式	1,222,850	
	栄養科	既設栄養管理システム 利用	バインシステム	1式	330,000	
	医事課	オンライン資格確認 (電カル連携)		1式	499,400	
		医事会計医療扶助が「ヤバ」が「ヤバ」		1式	425,700	
		医事会計医療助成が「ヤバ」が「ヤバ」		1式	304,700	
		医事会計システムソフト	キャノン: ラポート	1式	12,293,490	
		レポート作成システム	キャノン	1式	660,000	
	薬剤科	診療録管理システム (データ提出)	キャノン	1式	2,178,000	
		処方注射解析システム	タカソノ	1式	2,169,200	
		薬剤監査システム	タカソノ	1式	506,000	
	健診室	健診システム	エクセルクリエイツ: FORZ	1式	5,080,000	
		特定保健指導クライアント追加	エクセルクリエイツ: FORZ	1式	1,210,000	
	訪問リハ	訪問用 トレーニング用基本システム3	ソフトサービス寿	3	1,045,000	
	ソフトウェア計					47,088,140
	固定資産整備費合計					2,639,524,532
	ファイナンス	放射線	一般X線撮影装置	キャノン: RADspeed Pro	1	4,435,200
診断用X線装置			島津: RADspeed Pro	1	3,939,880	
A2A3		機械浴槽	アマノSB5000A	2	9,385,200	
厨房		ニュークックチル	中島製作所他	1式	66,838,147	
		子供庫	ホシザキ	1式	5,523,082	
		業務用冷蔵庫冷凍庫等	ホシザキ	1式	12,416,028	
サーバー室		電話交換機一式	沖電気CrosCore3	1式	23,907,840	
ファイナンスリース計					126,444,385	